

## 退任挨拶

総会終了後、これまで執行部として会を牽引、また運営にご尽力いただいた山下会長及び奥野監事に花束を贈呈させていただきました

コロナの時期は大変で、WEB 活用に関しては、執行部や会員の皆様のご協力をいただき、本当に感謝申し上げます。会としては、出来るだけ新しいことにチャレンジすることを心がけてきました。皆様にご協力いただきながら、何とか頑張ることができました。今後は監事として少しでも会のことに協力させていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。山下 千穂



歯科衛生士会に入会させていただいて 43 年余りが経つと思います。その間、副会長や色々な役職を務めさせていただき、会の役に立てるように努めてまいりました。これから会と離れて寂しい気持ちもありますが、陰ながら会の発展を心から祈っております。皆様、会の為にこれからもご尽力ください。本日は誠にありがとうございました。奥野 房代

## 新執行部紹介

|     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 会 長 | 野村カオル | 専務理事 | 得津 康子 |
| 副会長 | 稲垣 厚子 | 副会長  | 林 糸津香 |
| 理 事 | 森川 千尋 | 理 事  | 中田 律子 |
| 理 事 | 沖井 泉穂 | 理 事  | 西谷 敬子 |
| 理 事 | 神屋敷久美 | 監 事  | 吉田 俊香 |
| 監 事 | 山下 千穂 | 顧 問  | 小室 恵子 |

今期もどうぞよろしくお願い申し上げます



## 令和 7 年度新入会員紹介

出産後、診療所でパートで働いていました。人との出会いを通じて歯科衛生士会に入会しました。入会してみても診療所とはまた違う形でも歯科衛生士として活動ができ、知識も向上できることを知り、これから勉強も兼ねて頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。小島 万由佳

以前は診療所で勤務しておりましたが、昨年から和歌山市役所で勤務しております。現場を離れてしまうと新しい知識や技術を習得する機会がなくなってしまうので、勉強会に参加したり皆さまとの交流で、日々進歩する医療に取り残されないようにしたいと思っております。よろしくお願いいたします。太田 香

20 数年ぶりに福祉関係から歯科医療業界に戻ってきました。歯科衛生士会には歯科衛生士から離れていたため、最新の歯科医療の情報や知識を習得したいと思い入会しました。これからは歯科衛生士会の活動にもご教示いただきながら参加したいと思っています。そして様々な場で活躍されている歯科衛生士の方々に出会えることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。奥出 宏子

## 認定歯科衛生士紹介

認定歯科衛生士とは、特定する専門分野において高度な業務実践の知識・技能を有すると認められた歯科衛生士です。日本歯科衛生士会の生涯研修制度における認定研修を修了した歯科衛生士および日本歯科衛生士会が指定・委託する専門学会等から推薦された歯科衛生士が、認定歯科衛生士審査会に合格し認定歯科衛生士名簿に登録されると認定証が交付されます。令和 6、7 年に認定を取得された本会 7 名の会員を紹介します。認定取得の動機、認定セミナーで大変だったこと、今後の抱負などを述べていただきました。皆様も是非、認定取得を目指してみませんか？

## 生活習慣病予防認定歯科衛生士

私が認定資格の取得を目指す動機となったのは、勉強会で講演される本会の講師の方々や他府県の会員の先生方が皆、何かの認定資格を持たれておられ、とても知識が豊富で、その知識を惜しみなく講演しておられる姿に感動をしたからです。認定セミナー受講中は、期限までにオンデマンド講義を繰り返し拝聴するなど、休日はパソコンの前に座り込む日がしばらく続き大変でしたが、私が受講した生活習慣病予防コースは、認定テストも全てオンラインで済みましたので、比較的取得しやすかったと思います。日常の栄養摂取や健康管理に役立つ知識が増え良かったと思います。今年は又違う認定資格を受講し、歯科衛生士として知識のアップデートに努め、国民の口腔衛生を担う者として研鑽を積み続けたいと思います。阿部 洋美(令和 6 年認定取得)

認定を取得しようと思った動機は、日々患者様の口腔内を管理させて頂く中で、もう一歩踏み込んだ技術を提供したいと思ったからです。認定セミナーで大変だった事は、グループワークです。受講生の方々と議論し、指定された役割をこなすのが非常に緊張し、最も大変だったと感じました。今後の抱負としては、生活習慣病認定コースを通して多くの知見を得られたので、それを活用し、患者様の口腔健康増進に成果を残していきたいです。認定セミナーは研修制度が充実し、受講中に成長を感じながら働くことができます。スキルアップしたいとお考えの方は是非受けてみてください。そのきっかけになれば幸いです。最後になりますが、未熟者の私ですが先輩方からのアドバイスも頂き、認定を取得できました。至らない私に、ご指導・ご鞭撻・ご協力頂いた関係者皆様に深く感謝申し上げます。清水 里香(令和 7 年認定取得)

## 糖尿病予防指導認定歯科衛生士

認定取得の動機は、歯科衛生士としての視野を広げ専門的な知識を得ることで、自信を持って患者さんと接することが出来ると思ったからです。認定取得で大変だったことは、パソコンを使用しているリモートワークが大変でした。勉強は、日々の家事、育児、仕事をしながら動画の視聴をしたり、本 1 冊を読み、勉強するのも大変でした。東京に集合型研修に行かせて頂いたのですが、全国からたくさんの歯科衛生士が集まり、診療所で働いている方以外に、色んな場所で活躍されている歯科衛生士の方と交流でき、とてもモチベーションが上がりました。大変だった分、得るものも大きいと思います！認定取得を考えている方、頑張ってください。小園 歩(令和 7 年認定取得)

歯科衛生士として臨床に携わって長いですが、問診票の既往歴に「糖尿病」と記入される患者さんが多くなってきたのをきっかけに、糖尿病予防のために歯科衛生士ができることは何だろうと思い、糖尿病予防認定歯科衛生士の勉強を始めました。認定セミナーは、対面の受講はなく試験も含めて WEB で行われたため、少し物足りなさを感じました。今は学んだ事を自分の頭で咀嚼して患者様に伝えることを実践中です！「患者様のお口を元気にすること＝体を元気にすること」ことのお手伝いができたらと思っています。村田 敬枝(令和 6 年認定取得)

## 医療安全管理認定歯科衛生士

歯科衛生士として早いもので 30 年近く経つ中、もう 1 つ何か身につけれないかと考えたのが認定を取ることでした。とはいうものの、家事に子育て、仕事にと毎日自分の時間も充分に取れない私にできるのかと思い悩みましたが、本会の先輩方に後押ししていただき踏み切る事が出来ました。いざ勉強が始まると奥が深く、1 人でタブレットに向かい勉強するのが辛い時もありました。又、2 日間のオンライン研修では得意ではないパソコンに向かい、経験のない発表等ドキドキしながら受講した事が思い出されます。認定取得迄、色々な方の支援を受け、支えられとても感謝しています。認定をいかしながら日々の診療の一助となれば幸いです。これからは、専門職の更に専門を問われる時代だと思っています。認定取得目指している方、ぜひ頑張ってください。太田 仁美(令和 7 年認定取得)

## 摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士

高齢者施設で口腔ケアの仕事をするようになり、口腔内清掃だけでなく、咀嚼や嚥下機能を含めた、口腔機能を維持・向上させることが極めて重要だと実感しました。様々な研修会を受講し、知識のアップデートを重ね、もっと自信を持って仕事をしたいと思い、認定を取得することにしました。毎日の業務をしながらの勉強時間の確保は大変でしたが、わずかな隙間時間も有効に活用することで、集中力が高まった気がします。現地での吸引相互実習では、知らない方と実施するためとても緊張しました。また、計画立案の経験がなく、ワークショップに参加して重要性を痛感しました。認定取得後のこれからは、今まで以上にスキルアップすることが大切だと思っています。神屋敷 久美(令和 7 年認定取得)

歯科領域の広告可能な専門性資格は現在 5 領域(口腔外科、歯周病、歯科麻酔、小児歯科、歯科放射線)です。それぞれの専門領域において、患者から信頼される専門医療を提供できる歯科医師の質の保証です。日本歯科衛生士会においても広告可能な歯科衛生士の専門性資格について検討課題とされています。現在の制度では、既に取得済みの認定歯科衛生士(障害者歯科)や日本障害者歯科学会の指導歯科衛生士が広告可能になることは無いと思い、障害者歯科と関係の深い摂食嚥下リハビリテーションの認定を再取得することとしました。複数の認定維持のためには学術大会への参加や、研修会の受講など更新するための条件をクリアすることが大変ですが、実際に摂食嚥下リハビリテーションの需要が高まっていることは肌で感じています。和歌山県でもよい影響を与えあえる仲間を増やしたいです。山東 理沙(令和 7 年認定取得)